

## 第3回恵那市リニア中央新幹線対策協議会【会議要旨】

日時：平成30年11月26日(月)

午後2時～午後3時

場所：市役所会議棟大会議室

○あいさつ

### 【報告事項】

1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況
2. 岐阜県におけるリニア中央新幹線鉄道騒音に係る環境基準の地域類型指定について
3. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業（変電所）計画について
4. その他

公開または非公開の別 公開

### 出席者

小坂喬峰会長、柘植羌副会長、後藤康司委員、西尾努委員、前川登委員、西尾俊彦委員、丸山文憲委員、坪井弥栄子委員、瀨瀬錬一委員、林豊彦委員、細井健吉委員、熊谷正道委員、可知于委員、佐藤吉松委員、梅田光成委員、大鋸元紀委員代理、市川美彦委員、林憲二委員、篠原廣司委員、加藤春人委員、丸山朝夫委員、曾我佳奈子委員、黄地尚幸委員、加藤真治委員代理、林雅樹委員、加藤一郎委員、光岡伸康委員、小林敏博委員

傍聴者 5名

### 開会

○ あいさつ（小坂喬峰会長）

- ・ 本協議会は昨年度2回開催。今回は3回目であり今年度初。
- ・ 11月19日にリニア岐阜県期成同盟会によるJR要望を行った。知事、沿線6市町の各首長から要望をし、恵那市からは騒音対策、道水路付替えについて要望を行った。

## 【報告事項】

### 1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況

事務局から、リニア中央新幹線事業（大井町2区観音寺・岡瀬沢、3・13区青木・北関戸、7区野尻・野畑・大井長島、8区旭ヶ丘・長丘、長島町中野・久須見、武並町藤東部、武並町藤西部）および、中部電力による電力供給設備事業（500kV 恵那分岐線（仮称）・恵那変電所・154kV 送電線）（武並町、長島町、笠置町）の進捗状況を報告。また、以下のとおり発言があった。

#### 《報告内容》

##### 【リニア中央新幹線事業】

- ・ 大井町2区で、騒音に対する環境対策工について JR 東海、地域で協議中
- ・ 大井町3・13区、長島町中野・久須見、武並町藤東部で、用地測量（用地立会）を実施中
- ・ 大井町7区、8区で、付替道路等について JR 東海、地域、管理者で協議中
- ・ 武並町西部で、付替道路等について JR 東海、管理者で協議中
- ・ 大井町8区、長島町中野・久須見、武並町藤東部、武並町藤西部で水資源調査実施中

##### 【電力供給設備事業】

- ・ 500kV 恵那分岐線(仮称)について、武並町、長島町で境界立会準備中
- ・ 恵那変電所について、長島町で用地測量実施中
- ・ 154kV 送電線について、長島町で仮設調査実施中。笠置町で現地踏査について中部電力、地域で協議中

#### 《発言内容》

(市川美彦委員)

- ・ 用地取得は県職員が行うのか。

(事務局)

- ・ 用地取得について、岐阜県内は JR 東海から岐阜県が委託を受けている。一部、地元の自治体が再委託を受けており、恵那市内は恵那市が再委託を受け、JR 東海と岐阜県のお手伝いをさせていただく。

(市川美彦委員)

- ・ 事業が進むにつれ、様々な問題が出てくるかと思う。恵那市は岐阜県と連携をとりながら、JR 東海に問題提起していただきたい。

### 2. 岐阜県におけるリニア中央新幹線鉄道騒音に係る環境基準の地域類型指定の状況

事務局から、環境基準の地域類型指定の状況を報告。また、以下のとおり発言があった。

#### 《報告内容》

- ・ 平成30年4月1日に、岐阜県から、県内のリニア中央新幹線沿線の地域における新幹線鉄道騒音の環境基準の地域類型指定についての告示が出された。
- ・ 告示の内容について、リニア中央新幹線鉄道の軌道中心線から外側にそれぞれ400メートル以内の地域（トンネル出入口における軌道中心線上の地点を中心に、トンネル中央部方向に半径400メートルを越える部分を除く。）のうち、都市計画法の用途地域が、第1種・第2

種低層住居専用地域、第1種・第2種中高層住居専用地域、第1種・第2種住居地域、準住居地域、これらに相当する地域を地域類型Ⅰ類（70デシベル以下）とし、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、これらに相当する地域を地域類型Ⅱ類（75デシベル以下）とした。これは、前回の協議会で報告した内容のとおり。

《発言内容》

（市川美彦委員）

- ・ 地域類型Ⅰ類（70dB以下）は住居関係の地域。2区や7区の一部は都市計画の用途地域が指定されていない地域がある。用途地域の有無により指定される類型が異なる。地域のまちづくりの問題は住民が考えていかなければならないが、7区は非常に道路が狭いために、ミニ開発は進んでいてもその他の開発は進んでいない。用途地域が指定されていないまま、付け替え道路等により道路が整備されると、どのように地域が開発されていくのかわからない。地域毎にどういう都市計画がよいのか、2区、7区の一部の地域での類型の扱いや、将来のまちづくりについてしっかり考えていただきたい。

（小坂喬峰会長）

- ・ 要望として預かる。

### 3. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業（変電所）計画について

○ あいさつ（送変電技術センター リニア関連送変電工事所長 永井 俊）

- ・ 今年度中に関連工事の着工を予定している。
- ・ 恵那変電所から中津川市の JR 東海の変電所までの 15 万 4 千ボルトの送電線は関係する地域と協議中。まだ地域理解が得られていないところがある。当初予定していた来年度下期の着工は困難な状況。受電希望の 6 年後、2024 年には間に合わせるように、できるところから順次工事を着工していく。
- ・ 地域の皆様からご意見いただき丁寧に説明することで、地域理解を得ていきたい。

中部電力から、リニア中央新幹線電力供給事業（変電所）計画について説明。

### 4. その他

事務局から、リニアまちづくり講演会の開催、三郷町リニア対策協議会の設立、リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会による JR 東海への要望について報告。また、以下のとおり発言があった。

《発言内容》

（前川登委員）

- ・ 建設発生土運搬に関して、前回の対策協議会以降の動きはあるか。

（事務局）

- ・ 昨年度ルート案が JR 東海から示され、地域説明会では様々な課題・意見が示された。市は、そうした意見等を基に JR 東海と協議を行っているが、JR 東海は、工事請負業者が決定するまでは具体的な対応策を示すことができない、との見解を示している。市としては、地域理解

を深めるためにも、工事説明会前に課題への対策方法等を説明するよう、JR 東海に積極的に求めていく。

(前川登委員)

- ・ 市は JR 東海の後に行くのではなく、前に立って進めていただきたい。

(坪井弥栄子委員)

- ・ 三郷町リニア対策協議会を 11 月 15 日に開催した。発生土運搬車が小学校通学路の県道多治見恵那線を通行するため、PTA や保護者会で意見をまとめて、今年度中に恵那市リニア中央新幹線対策協議会に意見を出したいと思っている。発生土運搬は数年後だが、今のうちから準備をしていきたい。
- ・ 11 月 12 日に、岐阜県恵那土木事務所と JR 東海岐阜工事事務所に対して、鵜飼市議と水野県議と一緒に要望を行った。今後、事業が進み課題が出てくる度に JR 東海に意見していきたい。

(黄地尚幸委員)

- ・ 大井町 2 区が遅れているということだが大丈夫なのか。

(小坂喬峰会長)

- ・ 11 月 19 日に、リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会による JR 東海に対する要望活動を行い、恵那市からは、2 区の環境対策や、7 区の地域が半地下構造で分断されることについて、丁寧に地元に対応してほしいと要望してきた。JR 東海からは、社長以下建設担当役員含めて十分認識していること、今年度は取り立てて動きはないが、少しずつ前に進めて行きたいという回答があった。市は、JR 東海に、誠意を持って地元に対応していただくよう求めていく。地元の皆様が十分にご安心して納得している中で進めていければと思っている。

○閉会のあいさつ (柘植羌副会長)

- ・ 近隣では、中津川市と瑞浪市ではトンネル工事が着手されている。恵那市においては、各地域で課題が多く残っており、着工への見通しが立っていない。工事が始まってくると、さらに様々な課題が出てくると思われるが、その際にはより一層住民の取り組みが重要になってくる。しっかり情報を得て、皆様に情報提供させていただく。
- ・ 市議会は、行政を通じて JR 東海、中部電力から情報を得て、対応を求めている。引き続き取り組んでいく。

閉会